



子牛の発育と9か月出荷 ～経営的に見てみよう～

早いもので、1年の締め括りの時期となりました。今年は春先から子牛価格が上昇を続け、11月の中央市場では前年同月比43%増（価格にすると、なんと225千円増!）の高い相場となりました。相場高ではありますが、資材価格も高いままです。少しでも多く利益を上げるために「9か月出荷のススメ」についてお話します。

1 こんな牛、いつ出荷しますか？

Q 突然ですが、こんな子牛がいたら皆さんはいつ出荷しますか？

市場平均より
ちょっと悪い発育

【去】 日齢：240日 体重：250kg 体高：113cm

【雌】 日齢：240日 体重：230kg 体高：110cm

おすすめ!

➡ **9か月？ 10か月？**



10か月まで飼うのも費用かさむし、早く出してしまうか、300kgくらいまでは置いておくか...

重要!

開催月、上場順、購買者の好み等々…価格形成には様々な要因がありますが、**発育面から見ると、9か月出荷が利益UP**に繋がります!

その理由を詳しく見ていきましょう。

2 9か月と10か月出荷とした場合の増収

先ほどの子牛、皆さんはどう考えましたか？

確かに1か月後には体重が増えますが、同時に費用や労力も増えます。では、

9 ⇒ 10か月へと、上場を1か月遅らせると、価格はどれくらい上がるのでしょうか？

下の表は、発育レベルが平均程度(①と③)と、平均以下(②と④)の子牛が、それぞれ9か月及び10か月前後(±10日)で上場した場合の平均価格差です。

【去勢】

注目!

【雌】

注目!

【発育レベル】 kg/日	発育例 月齢	発育例 体重(kg)	平均価格差 (千円)	1か月延長による増収(千円)
①【平均程度】 1.05~1.15	9	285~310	23	9
	10	315~345	32	
②【平均以下】 0.95~1.05	9	260~280	-72	45
	10	285~315	-26	

【発育レベル】 (kg/日)	発育例 月齢	発育例 体重(kg)	平均価格差 (千円)	1か月延長による増収(千円)
③【平均程度】 0.95~1.05	9	260~280	4	33
	10	285~315	38	
④【平均以下】 0.85~0.95	9	230~250	-53	26
	10	255~285	-27	

3 9か月と10か月出荷とした場合の利益

子牛を1か月飼育するのにかかる、飼料費・診療費等の直接的な経費

⇒ **36,000円** (参考:令和5年畜産物生産費統計)

先ほどの増収額と差し引きすると…

(単位:千円)

性	発育	1か月延長による増収 (A)	割増し経費 (B)	利益 (A-B)
去勢	平均程度 ①	9	36	-27
	平均以下 ②	45		9
雌	平均程度 ③	33		-3
	平均以下 ④	26		-10

増収と割増し経費を考えると、9か月出荷の方が多く手元にお金が残るそうだね!

管理の労力 (=人件費) も減らせるし、良い事が多いよ!



4 まとめ

・発育から見ると、**9か月出荷が利益UP**に繋がる!

※平均発育以下の去勢は、10か月の方が良い可能性があります

・迷わず9か月出荷できる子牛を作りましょう!

⇒最もコスパの良い飼養管理ポイントは、生後0~3か月!

3か月齢で3kg目標!

★母牛の増し飼い ★生後6時間以内の初乳 ★スターター給与で

発育三ツ星★★★★の子牛を!!!

2カ月前から配合+2kg

繁殖サイクルを回してガッチリ ~見えない儲けをわしづかみ!~



県飼養管理マニュアルのダウンロード

第7回は繁殖牛の選定の際に、体型の見るべきポイントの紹介でした。

今回は、**繁殖育成牛の栄養管理**です。次世代の牛群を担う育成牛は、適正な時期に初回種付ができるような十分な体格づくりが必要です。

牛の発育には下記のような順番があります。発育段階に見合った栄養管理をしましょう。

1~3か月齢

- ・体高が**6cm/月**と、最も伸びる
- ・第1胃の基礎を作る時期
- ⇒**スターター**が最適!

4~6か月齢

- ・骨格、第1胃が大きく発達
- ・**育成用配合飼料**の給与量を**最大**に
- ⇒**4kg/日**が目安!

7か月齢~

- ・**脂肪が蓄積しやすくなる**
- ・丈夫な第1胃を作る時期
- ⇒育成用配合飼料を3.5kgに減らし、**粗飼料中心の給与**



この牛は保留するから、ゆっくり大きくすればいいんだから、育成用配合飼料の量も少なめでいいな!

注意

牛の**発育は順番が決まっています、後から取り戻すことはできません。**また、発育の段階に応じて必要な栄養成分が異なるので、時期に応じてスターター・育成用配合飼料・粗飼料を使い分けましょう!



特に、**スターターは第1胃の発達=その後の発育に超重要!**高栄養で子牛のお腹に優しく、替えが効かないんだ。

気になったので、優良農家に聞いてみました!



Q. 出荷か保留で飼養管理を変えますか?

A. **出荷も保留も大きな差はない**かな。

強いて言えば、保留する牛は、より脂肪を付けないように、**特に6~7か月以降は粗飼料主体**でしっかり腹を作るんだ。

優良農家の意見は一致!

